

## 25: 誤嚥性肺炎の摂食指導実施率

分母	誤嚥性肺炎の退院患者数
分子	誤嚥性肺炎退院患者のうち、摂食機能療法が実施された患者数
備考	分子について ・一人の患者に複数回施行された場合でも同一入院では一人とする
概要	誤嚥性肺炎とは、雑菌を含んだ食べ物や唾液、痰などを、誤って肺に入れてしまうことが原因で起こる嚥下機能障害です。通常、口から入ったものは、脳からの指令により、自動で気管と食道に振り分けられます。しかし、この機能は年齢とともに衰え、障害発生の原因の一つと考えられています。そのため、誤嚥性肺炎は、別名「老人性肺炎」ともいい、高齢者に多い疾患となっています。この指標は、嚥下機能障害の患者に対する摂食機能療法を行った実施率を測る指標となります。

施設コード	調査開始日	調査終了日	分母数	分子数	割合
210111438	20160401	20170331	150	5	3.33%
210111438	20170401	20180331	149	14	9.40%
210111438	20180401	20190331	161	13	8.07%
210111438	20190401	20200331	169	48	28.40%
210111438	20200401	20210331	155	9	5.81%
210111438	20210401	20220331	118	7	5.93%
210111438	20220401	20230331	146	1	0.68%
210111438	20230401	20240331	150	2	1.33%
210111438	20240401	20250331	158	17	10.76%
210111438	20250401	20260331			#DIV/0!
210111438	20260401	20270331			#DIV/0!
210111438	20270401	20280331			#DIV/0!

